



いざなぎ学園だより

No.26 2023.2/15

◆令和4年度 淡路文化会館「いざなぎ学園」第26回講座

2月15日(水)、午前サークル月7 社交ダンス・パソコン中級・美術が行われました。また午後からは上方講談師 旭堂南海氏による教養講座8 講談「徳川家康危機一髪物語」が行われました。



(受講生 振り返りシートより)

- 学園の講座で講談を聞いたのは初めてでした。テンポの良い軽快な語り口、話術、記憶力のすごさ、笑いの誘い方、どこをとっても素晴らしく、あっという間に時間が過ぎました。プロはすごい。ありがとうございました。
- 「下手でも人前で何か発することの大切さ」「見て、読んで、書く」「生き延びることの大切さ」「自分の夢を高いところに置くと細かいことが気にならない」「忘れたら、もう一度覚えたらよい」「忘れたら覚えるチャンス」「忘れたことを思い出しているあなたで十分」。講談の内容とは関係ないですが、心にしみました。
- 今回も大変楽しく拝聴しました。毎度のことながらプロはすごいと思いました。落語とはまた違って歴史の勉強になり、幅広く楽しめました。機会あればまたお願いします。
- いろんな歴史のお話をこんなに詳しくすらすらとお話しされ、脱帽です。聞きやすい話し方で、楽しいひと時をありがとうございました。

・昨年も面白く受講させていただきました。今日の講談を楽しみにしていました。お話に引き込まれ、あっという間に時間が過ぎました。大河ドラマを視ているので一層、興味深く聞かせていただきました。

・講談の中に引き込まれました。大河ドラマもそうですが、私が描いている家康像との違いに戸惑っています。

楽しい講談、ありがとうございました。

・日本の伝統話芸を直接聞く機会がなく、南海先生の講談を毎年楽しみにしています。これからも活動を続けていただくとともに、「いざなぎ学園」講座で落語や浪曲の企画もお願いします。

・毎回、旭堂南海先生の講座を楽しみにしています。徳川家康が長命であったのは、次々に協力者ができたからのようですね。歴史を固いお話ではなく、楽しい講談で聞くことができ、とても楽しいひと時でした。また歴史のこともしっかり理解できました。ユーモアたっぷりの講談を本当に楽しめました。また機会があれば拝聴したいと思います。ありがとうございました。

・一遍上人のお話から始まる徳川の成り立ち、とても面白かったです。三方ヶ原での大敗、のちの肖像画の情けない顔を思い出しました。伊賀越えのお話も面白かったです。また来年もお話をお聞きしたいです。

・講談を生でお聞きしたのは初めてでした。面白かったです。笑いながら歴史を学び、有意義な時間でした。今年の大河ドラマ、松潤の家康と南海先生の臨場感ある講談が重なってとてもよかったです。

・初めての講談を聞き、楽しかったです。毎週、大河ドラマを見ているのでこれからもとても楽しみです。歴史はいろいろな解釈がありますが、徳川家康の人となりや少し理解できたような気がします。

・地方のいたるところに家康に関する地名、名前が残っていることに興味を持ちました。今回も非常に楽しく良かったです。またの機会を作ってください。

・お声が若々しく、素晴らしいお話ぶりに感嘆しました。「松平」のイントネーションの説明も良かったです。久松松平は家康の異母弟。播州教信寺は私の母の実家の近所でとても懐かしかったです。得川から徳川、三河の守、小豆餅、銭とり、しもだれ、しかめ図の伝説、最大の危難、信長の死、…とても面白かったです。

・わかりやすく本当に切れ味のよい語り口に魅了されました。毎日特別な訓練をされているのでしょうね。だからこそ、お話の内容もさることながら、その口調に引き込まれるのだと思います。三方ヶ原の戦いのお話は本当に素晴らしく、笑わせてくれたり、納得させられたり、楽しませていただきました。本物の講談をお聞きできました。ありがとうございました。

・人生は、ゆっくり、ゆっくり過ごし、慌てることなく、自分探しをしながら生きていく。自分にとっての危機一髪は何かな～。何も無いから今がある??